

令和6年度 第2回恵庭市文化財保護委員会

日 時 令和7年3月25日（火）9:30～

会 場 恵庭市郷土資料館 研修室

●会議次第

1. 開会

2. 挨拶

- ・教育部次長

3. 議題

(1) 令和6年度主な事業の報告及び経過報告について

- ・郷土資料館事業について
- ・史跡整備・重要文化財指定・アイヌ政策関連の主な事業について
- ・埋蔵文化財関連の主な事業
- ・文化財防火デー防災訓練について

(2) 令和7年度事業計画について

- ・郷土資料館事業計画（案）について
- ・史跡整備・重要文化財指定・アイヌ政策関連の主な事業について
- ・埋蔵文化財関連の主な事業

4. その他

5. 閉会

令和 6 年度 第 2 回恵庭市文化財保護委員会資料

令和6年度 郷土資料館事業報告

事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容 (簡潔に記入)	決算額 (千円)	備考
遺跡発掘調査成果展 ～令和3年度・令和4年度の発掘調査～	4月20日～6月16日 (46日間)	郷土資料館	2,118人 (-)	令和3年度・令和4年度に実施した遺跡の発掘調査について、縄文土器などの出土品の実物や調査風景の写真を展示。	5 (小中学生 355名)	
コレクション展「鈴蘭窯」	7月6日～8月25日 (41日間)	郷土資料館	1300人 (-)	昭和55年、郷土恵庭に根差した器を作ろうと開業した「鈴蘭窯」で制作された花器や皿、湯呑茶碗等の陶器約80点を展示。	0 (小中学生 403人)	
企画展「特別公開2024 カリナンバ遺跡重要文化財 漆塗り装身具」	9月21日～9月23日 (3日間)	埋蔵文化財 整理室	195人 (91人)	年に1度、カリナンバ遺跡の大型合葬墓3基から出土した漆塗り装身具の実物を公開・展示する。同時に市内遺跡ミニ展示「恵庭の遺跡から出土した縄文時代の玉類」も行った。	10 (小中学生 11人)	
企画展「西島松5遺跡出土品重要 文化財新指定記念写真展」	9月11日～10月14日 (27日間)	郷土資料館他	744人 (-)	令和6年度に新たに重要文化財に指定された西島松5遺跡出土品の写真、またそれらが出土したお墓の写真や図などを展示。	15 (小中学生 104名)	
企画展「西島松5遺跡出土品重要 文化財新指定記念出土品展」	10月19日～12月15日 (50日間)	郷土資料館	1,400人 (-)	令和6年度に新たに重要文化財に指定された西島松5遺跡出土品の実物(金属製品と土器)、またそれらが出土したお墓の写真や図などを展示。	10 (小中学生 310名)	
コレクション展「道具のうつり かわり」	1月4日～2月2日 (24日間)	郷土資料館	434人 (-)	昔から日常的に使用されてきた炊飯、洗濯、暖房等、生活用具の変遷を郷土資料館収蔵資料でつないで紹介。	0 (小中学生 98人)	
ひな人形展	2月8日～3月9日 (開催中)	郷土資料館	(1,030人)	これまでに寄贈を受けた明治から平成までの9組のひな人形を展示。	0	
常設展示室入替展 「戦争資料展」	8月1日～8月29日 (24日間)	郷土資料館	619人 (372人)	常設展示室「昭和ユーナー」を一時撤収し、市民より寄贈を受けた戦争関連資料 約70点を展示	0 (小中学生 192人)	

展示事業

令和6年度 郡土資料館事業報告

教育普及事業 史跡普及事業	アイヌマスター育成事業	7月～2月（計8回）	郷土資料館他	小中学生6人	市内に在住する小中学生のうち公募した6人が、計8回の講座や体験でアイヌ文化を学ぶ。	1,365	（小中学生6人）
	アイヌ文化学習見学会事業	8月24日	白老町・登別市	29人（35人）	市民を公募し、白老町と登別市の博物館やアイヌ関連施設で現地学芸員の解説を受けて、アイヌ文化を学ぶバスツアーを実施。	120	（小中学生1人）
	第2回アイヌ文化講演会	6月22日	市民会館	74人（59人）	演題：「松浦武四郎が記録した恵庭のアイヌ文化」 講師：文化庁 調査官 内田 祐一 氏	5	（小中学生0人）
	ムックリ製作体験事業	7月27日	郷土資料館	15人（-）	市民を公募し、恵庭アイヌ協会会長を講師としてムックリ作りを実施。	10	（小中学生0人）
	カリンバ土曜講座①	4月20日	郷土資料館	27人（21人）	演題：「恵庭の遺跡と発掘調査～ユカサンボシリ流域の遺跡を中心～」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 鈴木将太	1	〃
	カリンバ土曜講座②	7月8日	郷土資料館	35人（21人）	演題：「令和4年度に行われた柏木川9遺跡の発掘調査について」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 長町章弘	0	〃
	カリンバ土曜講座③	9月28日	郷土資料館	24人（13人）	演題：「昭和11年 恵庭村民の大演習」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 大林千春	0	〃
	カリンバ土曜講座④	11月30日	郷土資料館	21人（15人）	演題：「恵庭市内の石碑と保存について」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 杉浦正和	0	〃
	第11回カリンバ講演会	6月8日	市民会館	70人（35人）	演題：「北海道の縄文・続縄文社会とカリンバ遺跡」 講師：北海道大学 教授 高瀬 克範氏	5	〃
	西島松5遺跡出土品重要文化財新指定記念講演会	12月7日	市民会館	88人（-）	演題：「西島松5遺跡の意義とその背景」 講師：北海道大学アイヌ・先住民研究センター 准教授 裏島栄紀 氏	21	〃
及重文普事業	普業学芸員による展示解説	5月から3月の計11回	郷土資料館	226人（86人）	毎月1回資料館の学芸員が展示解説	2	—

令和6年度 郷土資料館事業報告

教育普及事業 体験学習会	第2回千歳・恵庭の遺跡を歩こう キウスVSカリンバ編	5月26日	カリンバ遺跡群とキウス周堤群	30人 (17人)	恵庭市と千歳市の遺跡をウォークしながら、両市の遺跡調査員の解説を聞く。	1	—
	ふるさと散歩見学会 「古里チョイ散歩」	8月24日 9月21日	見学地：市道恵庭線	10人 (4人)	郷土資料館がランティア事業。郷土資料館が案内ガイドを務め、市道恵庭線沿の歴史的ゆかりのある場所を少人数で訪ね歩く。	0	(小中学生 0人)
	自然観察会	5月18日	黄金地区カリシバ遺跡とその周辺	16人	国指定史跡カリシバ遺跡とその周辺の野鳥を中心観察し、合わせてカリシバ遺跡について学習。	5	(小中学生 1人)
	漁川の生きもの観察会	8月3日	漁川あかね橋上流むつみ公園駐車場付近	13人 (6人)	漁川に生息する魚や水生昆虫たも網で捕獲し、観察を行う。	0	(小中学生 8人)
	昔の道具体験コーナー	4月27日～5月6日	郷土資料館	自由参加事業	収蔵資料の中から唐箕、石臼、竿ばかり等の資料を実際に動かし、体験する。	0	—
	第11回カリシバまつり ～君も縄文人になるう～	7月27日	郷土資料館	244人 (23人)	市民を公募し、勾玉作り、縄文土器作り等を実施。	48	(小中学生 約6割)
	粘土で土笛づくり体験	7月31日	郷土資料館	20人 (15人)	郷土資料館がランティア事業。粘土で土器を作っていた大昔の人たちの生活の一端に触れようと、粘土で土笛づくりを体験。	0	(小中学生 14人)
	黒曜石カービング体験	10月12日	はなぶる	14人 (23人)	郷土資料館がランティア事業。大昔の石器の材料として知られる黒曜石の破片にガラス工芸用のペンで模様や文字を描く。	0	(小中学生 10人)
	クイズ＆スタンプラリー2024	8月1日～18日	郷土資料館	119人	夏休み事業。館内のスタンプを押し、コレクション展「鈴蘭窯」に開するクイズに正解するとガチャ機から同展示資料の缶バッジを配布。	0	(小中学生 119人)
	ふるさと教育宅配事業	6月～11月	市内小学校	市内小学生	郷土資料館収蔵資料の内、学校・お店・家の中で使う道具とアイヌ民族資料を市内の8小学校に貸出し、巡回して展示を行う。	29	—

令和6年度 郷土資料館事業報告

レファレンス	レファレンスの実施			約 10件 主な内容： ・古文書について（一部道立文書館へ依頼） ・歴代首長肖像画について ・史跡カレンバ遺跡について 等
資料収集	自然・郷土資料の収集			自然資料： 岩石等 歴史資料： ガス炊飯器等の生活用具 戦前の雑誌 島松川上小学校で使用されたストーブ 等 全15件 56点 (2/28現在)
資料収集	郷土史及び高齢者の記憶にのこる歴史的事柄の記録			元島松沢在住者 斎藤昭子さん
史跡整備	収集資料の電子化			収蔵資料管理データベースの整備 ・検索のための資料名、年代などの用語統一 ・資料の所在確認 ・市民より寄贈を受けた8ミリフィルムのデジタル変換及び編集作業 (40本返還終了)
周知・刊行物	事業の周知			5月25日（土）に市教委と近隣住民、カリシナバの会の協力を得て 行つた。参加人数は延べ56名。 業者委託。6月と8月の年2回実施。 34 1,967 別紙参照。
啓発活動	刊行物 館内説明案内サービス 学校教育等との連携			・1事業につきポスター・チラシを約70カ所に配布 配布先 = 市内公共施設 小中学校 JR駅 デイサービスセンター グループホーム ・市広報 市ホームページ 新聞 タウン情報誌に情報掲載 ・転入者に対する利用案内 市民課を通じて来館者用リーフレット配布 (年500部) ・資料館だより (4回) 配布先 = 市内公共施設 小中学校等 (各回280部) ・年報 (隔年) ・昔の人の道具調べ (小学3年生の社会科单元) 3校来館
2月末総入館者数				6,734人 (5,618人)

令和 6 年度 史跡整備・重要文化財指定・アイヌ政策関連の主な事業

1. 史跡カリンバ遺跡整備事業

(1) 史跡カリンバ遺跡整備検討委員会

- ①概要：史跡整備の基本設計の検討、及び今後の史跡整備を検討するため開催
- ②開催日：第 1 回令和 6 年 5 月 30 日、第 2 回令和 6 年 9 月 18 日、第 3 回令和 7 年 1 月 20 日
- ③経費：422 千円（国庫補助金 1/2、市単独費 1/2）

(2) 史跡カリンバ遺跡整備基本設計委託

- ①概要：令和 8 年度の史跡現地整備に向けて、基本設計を委託（3/3 時点での図面は別紙参照）
- ②経費：2,948 千円（国庫補助金 1/2、市単独費 1/2）
- ③業者：（株）環境緑地研究所

(3) 史跡カリンバ遺跡史跡標識製作委託

- ①概要：令和 8 年度の史跡現地整備に向けて、現地に建立する石製の史跡標識を製作
- ②経費：253 千円（国庫補助金 1/2、市単独費 1/2）
- ③業者：北村石材

(4) 史跡カリンバ遺跡低地面転落防止柵設置工事

- ①概要：令和 4 年度に低地面に設置した木製のテラスと旧カリンバ側の間に本格的な転落防止柵を設置
- ②経費：781 千円（国庫補助金 1/2、市単独費 1/2）
- ③業者：（株）園建

(5) カリンバ遺跡史跡等水文環境調査

- ①概要：資料館学芸員がボーリング孔の地下水位や旧カリンバ川三角堰の流量を月 1 回計測した。水位や水量の著しい変化はなかった
- ②経費：141 千円（自記水位計等の更新、市単費）



史跡標識



史跡低地面転落防止柵

2. 西島松 5 遺跡出土品重要文化財指定

令和 6 年 8 月に新たに西島松 5 遺跡出土品 218 点（金属製品 155 点、土器 62 点、琥珀玉 1 点）が重要文化財に指定された。それを記念して、下記の公開事業を実施

（1）展示：ミニロビー展「西島松 5 遺跡出土品重要文化財新指定記念展」

①日程：9 月 11 日（水）～9 月 24 日（火）

②会場：（ア）恵庭市民会館ロビー、（イ）はなふるセンターハウス恵庭観光案内所観光パンフレットコーナー、（ウ）島松公民館ロビー

③概要：市内 3 か所の公共施設で行った指定を記念したミニロビー写真パネル展

（2）展示：企画展「西島松 5 遺跡出土品重要文化財新指定記念写真展」

①日程：9 月 11 日（水）～10 月 14 日（月）

②会場：恵庭市郷土資料館 1 階 特別展示室

③概要：指定を記念した写真パネル展

（3）展示：企画展「西島松 5 遺跡出土品重要文化財新指定記念出土品展」

①日程：10 月 19 日（土）～12 月 15 日（日）

②会場：恵庭市郷土資料館 1 階 特別展示室

③概要：指定を記念して実物資料の一部を展示

（4）講演会：「西島松 5 遺跡出土品重要文化財新指定記念講演会」

①日程：12 月 7 日（土）

②会場：恵庭市民会館 2 階 大会議室

③講師：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

准教授 蓼島栄紀氏

④演題：西島松 5 遺跡の意義とその背景



実物展示の「学芸員展示解説」の様子



代表的な指定品の写真



指定記念講演会の様子

3. アイヌ政策推進交付金事業

(1) アイヌ文化マスター育成事業

①概要：市内の小中学生 6 名が釧路市阿寒や函館市などでアイヌ文化を学んだ。計 8 回の事業を通じて、アイヌ文化への正しい理解を深めることができた

②経費：1,231 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(2) アイヌ文化学習見学会事業

①概要：公募した参加者 31 名をバスで白老町や登別市のアイヌ文化関連施設に引率した。現地の学芸員等に解説を依頼し、アイヌ文化を深く学べる機会を提供した

②経費：119 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(3) アイヌ文化講演会事業

①概要：アイヌ民族の文化や歴史に対する理解を広げるため、昨年に引き続き文化庁の内田調査官に講師をお願いし、「松浦武四郎が記録した恵庭のアイヌ文化」と題するご講演をいただいた

②経費：3 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(4) ムックリ製作体験事業

①概要：公募した参加者 15 名にムックリ製作体験をしてもらい、アイヌ文化に触れていただいた

②経費：10 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）



アイヌ文化マスター育成事業の様子



アイヌ文化講演会の様子

4. カムイノミ・イチャルパの実施について

(1) カムイノミ・イチャルパの実施について

10月27日（日）に恵庭アイヌ協会は千歳アイヌ協会などの協力を得て、遺骨の地域返還に係るカムイノミ・イチャルパ（神々への祈り・先祖供養）を恵庭市埋蔵文化財整理室で行いました。恵庭市は会場設営や当日の運営等で協力しました。



カムイノミ・イチャルパの様子

令和6年度 埋蔵文化財関連の主な事業（3月5日現在）

○市内遺跡発掘調査等事業

1. 発掘調査

概要：幸町1丁目の茂漁1遺跡に該当する区域において、市道の改良舗装工事の事前に発掘調査を実施しました。
経費：8,716千円（土木課負担）

（1）茂漁1遺跡

調査目的：茂漁54番線（市道）改良舗装工事に伴う記録保存調査
調査地：幸町1丁目411-1 調査面積：240m²
調査期間：6月13日～7月12日
整理期間：2月17日～3月31日（3月31日報告書刊行予定）
遺構：土坑・焼土 遺物：擦文土器・石器など 約3,200点

2. 整理作業

概要：令和5年度に商業施設建設に伴い発掘調査を実施した柏木川9遺跡の出土品等の整理作業を実施しました。
経費：事業者負担

（1）柏木川9遺跡

調査目的：商業施設建設に伴う記録保存調査
調査地：柏陽町3丁目280-1ほか 調査面積：約1,375m²（令和5年度発掘）
整理期間：令和6年2月1日～8月31日（8月19日報告書刊行）
遺構：竪穴建物跡・土坑墓・土坑など 遺物：土器・石器など 約39,100点

3. 埋蔵文化財保護のための事前協議に係る試掘・所在調査

概要：工事計画地が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に該当する場合などに、工事計画地における埋蔵文化財の有無・規模・内容などを確認し、工事が埋蔵文化財に与える影響を勘案し、発掘調査等の必要性の有無を判断することを目的として事前協議を行っています。埋蔵文化財包蔵地の該当有無の照会は106件、事前協議は21件あり、このうち試掘調査5件、所在調査7件の調査を実施しました。

経費：1,970千円（国庫補助金1/2・市一般財源1/2）

（1）茂漁2遺跡（隣接地）

調査目的：個人住宅解体撤去工事に伴う所在確認調査
調査地：柏木町4丁目333-15・37 調査面積：227.89m² 調査期間：4月26日
遺構・遺物：なし 調査結果：工事着工可

（2）ユカンボシE11遺跡

調査目的：ソフトバンク恵庭和光局設備増設工事に伴う所在確認調査
調査地：和光町5丁目513-1 調査面積：6m² 調査期間：5月16日
遺構：遺物：なし 調査結果：要工事立会

（3）ルルマップ川20遺跡（新規登載）

調査目的：蓄電システム工事に伴う試掘確認調査
調査地：西島松164-1ほか 調査面積：21,357m² 調査期間：11月21～26日
遺構・遺物：土器・石器など 56点 調査結果：要発掘調査・要工事立会

(4) 茂漁 11 遺跡

調査目的：建物解体工事に伴う所在確認調査

調査地：幸町 1 丁目 411-67 調査面積：295.27 m² 調査期間：6月 25 日

遺構・遺物：なし 調査結果：要工事立会

(5) 茂漁 11 遺跡

調査目的：建物解体工事に伴う所在確認調査

調査地：幸町 1 丁目 411-55 調査面積：295.27 m² 調査期間：8月 9 日

遺構・遺物：なし 調査結果：要工事立会

(6) ユカンボシ E1 遺跡（隣接地）

調査目的：個人住宅新築工事に伴う試掘確認調査

調査地：駒場町 6 丁目 170・171 調査面積：423.76 m² 調査期間：10月 10 日

遺構・遺物：なし 調査結果：工事着工可

(7) 島松仲町遺跡

調査目的：個人住宅新築工事に伴う試掘確認調査

調査地：島松仲町 3 丁目 321 調査面積：383.63 m² 調査期間：12月 24 日

遺構・遺物：なし 調査結果：工事着工可

(8) 西島松 1 遺跡

調査目的：個人住宅新築工事に伴う試掘確認調査

調査地：西島松 561-1 の内 調査面積：1,160 m² 調査期間：12月 23 日

遺構・遺物：なし 調査結果：工事着工可

(9) ユカンボシ E2 遺跡

調査目的：工場建設工事に伴う所在確認調査

調査地：戸磯 604-2 調査面積：55,597.68 m² 調査期間：9月 12 日

遺構・遺物：なし 調査結果：工事着工可

(10) 柏木川 13 遺跡

調査目的：道路改良舗装工事に伴う所在確認調査

調査地：北柏木町 2 丁目 293-47 ほか 調査面積：1,119.39 m²

調査期間：10月 30 日

遺構・遺物：なし 調査結果：工事着工可・要慎重工事

(11) ユカンボシ E2 遺跡

調査目的：個人住宅新築工事に伴う所在確認調査

調査地：和光町 5 丁目 497-10 調査面積：231.37 m² 調査期間：12月 25 日

遺構・遺物：なし 調査結果：要工事立会

(12) ユカンボシ E4 遺跡

調査目的：盛土工事に伴う試掘確認調査

調査地：戸磯 400-20 ほか 調査期間：2月 17～27 日 調査面積：7,980.346 m²

遺構・遺物：なし 調査結果：道教委未回答

4. 金属製品保存処理事業

概要：市内の遺跡から出土したアイヌ文化期の鉄鍋など 3 点の保存処理を実施しました。

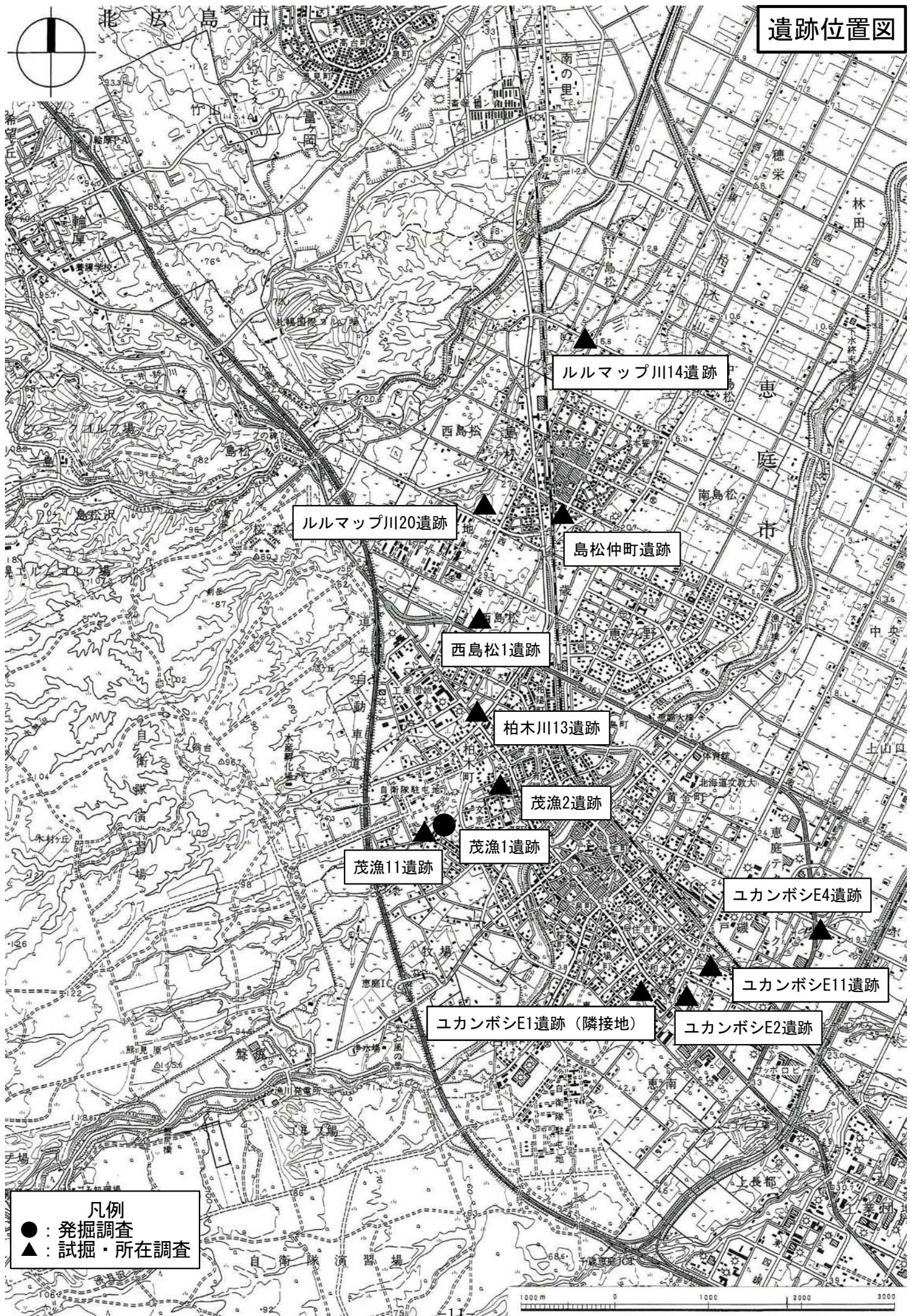
経費：3,630 千円（国庫補助金 1/2、市一般財源 1/2）



発掘調査の対象となった道路（茂漁 1 遺跡）



擦文土器の出土状況



凡例

● : 発掘調査
▲ : 試掘・所在調査

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

市町村名
恵庭市

行 事 名 称	第 71 回文化財防火デー 天融寺防火訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 26 日 (日) 9:00~9:40
実 施 場 所	天融寺 (恵庭市上山口 476)
主 催 者	恵庭市教育委員会 恵庭消防署南出張所 天融寺

■実施内容

訓練の想定

本堂西側から出火。本堂の火災報知設備が作動されたことにより関係者は 119 番通報。初期消火及び文化財の保護・搬出を行う。

訓練の内容

- ・通報避難訓練
- ・文化財の搬出と検証
- ・自衛消防隊による消火訓練
- ・消防による放水
- ・訓練検証

天融寺

＜住職及びご家族 檜家役員 付近在住者＞ (12名) =119 番通報 自衛消防隊の消火訓練 文化財搬出
 恵庭消防署南出張所 (6名) =全体統括 放水訓練 講評
 教育委員会 (3名) =現場立会い 講評 記録写真撮影

特に工夫した点

日常の危機管理意識を高めていただくよう、実際に 119 番 (消防の災害用スマートフォン) へ通報し、火災報知器を作動させ、より実感がわくよう訓練を実施した。特に檀家・付近在住者で構成される自衛消防隊は、実際に屋内消火栓を使って放水訓練及び手順の確認を行った。また、水消火器による初期消火訓練は、敷地内路面凍結の危険性があることから 8 月 6 日の行事の際に実施することとした。

問題点・課題

冬期間は、敷地内の除雪を徹底し、緊急車両の進入、消火活動の妨げとならない状況の維持に努める。

その他

訓練風景

別紙のとおり



発煙筒点火



文化財搬出



自衛消防隊の屋内消火栓による放水



自衛消防隊の屋内消火栓による放水



消防車両による放水



天融寺住職の挨拶

令和7年度郷土資料館事業計画（案）

事業名	期日	対象	趣旨	
展示事業				
1.常設展示	通年	一般	郷土の自然・歴史・文化の展示解説（戦争資料展他）。	
2.カリンバ遺跡展（常設）	通年	一般	平成11年度、調査されたカリンバ遺跡、出土品、土坑墓レプリカ、漆製品（複製）、玉等を中心に展示。	
3.令和5・6年度 市内遺跡発掘調査成果展	4月19日～6月15日	一般	令和5年度に発掘調査した柏木川9遺跡、令和6年度に発掘調査した茂漁1遺跡等の調査成果を、遺物の実物展示や遺構の写真等を使い、わかりやすく展示。	
4.（仮）企画展「恵庭100年のあゆみ」	7月5日～8月24日	一般	令和7年度、昭和100年を迎えることから、写真や生活用具をまじえ、昭和の恵庭を振り返る。	
5.特別公開2025国指定重要文化財カリンバ遺跡出土品展及び市内遺跡ミニ展示	9月13日～15日	一般	埋蔵文化財整理室において普段は展示していないカリンバ遺跡出土の重文の漆製品（実物）を特別公開。市内遺跡で見つかった遺物のミニ展示も実施。	
6.（仮）恵庭の擦文前期土坑墓～西島松5遺跡とユカンボシE7遺跡の比較	10月25日～12月21日	一般	西島松5遺跡は7～9世紀のお墓が90基、ユカンボシE7遺跡は6～7世紀のお墓が23基確認されており、当時北海道ではあまり出土していない金属製品が数多く副葬されていた。それらを比較して展示。	
7.コレクション展「道具のうつりかわり」	1月	一般	生活用具の変遷について、収蔵資料を使って紹介。	
8.収蔵資料展	随時	一般	収蔵資料の中からテーマを決めて展示。	
教育普及事業				
1.見学会・講座				
(1)ふるさと散歩見学会「古里チョイ散歩」	6月～10月	一般	ボランティア共催事業。市内の歴史的スポットを見学。	
(2)カリンバ講演会	5月10日		史跡カリンバ遺跡に関する講演会。	
(3)遺跡を歩こう	5月25日		恵庭と千歳の遺跡を埋文調査員がウォーキングしながら解説。	
(4)カリンバまつり	7月26日		土器作り、勾玉作りを実施。	
(5)西島松5遺跡シンポジウム	10月13日		新たに重要文化財に指定された西島松5遺跡のシンポジウム。	
(6)カリンバ土曜講座	4～3月		資料館学芸員4名が計4回の講座を実施。	
(7)学芸員による展示解説	4～3月		資料館学芸員4名が計12回の展示解説を実施。	
2.観察会				
(1)自然観察会	5月	一般	カリンバ遺跡周辺の野鳥を中心とする自然観察。	
(2)漁川の生きもの観察会	8月	小中学生	市内の川に生息する魚類・水生昆虫の観察。	
3.体験学習会				
(1)モノづくり体験	9月	一般	粘土や黒曜石を使ったモノづくりを体験する。	
(2)昔の道具体験	5・10月		収蔵資料の中から安全に動かすことができる資料を選択し、体験する。	
(3)昔のあそび体験	5～10月		屋外やホールで使用可能なもののみ実施する。	
4.レファレンス	随時	一般	郷土の自然・歴史・文化にかかる市内外からの問い合わせに對して、調査し回答を行う。	
(1)レファレンスの実施				
5.資料活用				
(1)ふるさと教育宅配事業	6～10月	市内小学校	ふるさと教育の一環として、収蔵資料の内、貸出し対象資料となっている資料を各小学校に巡回させながら配達し、利活用の拡充を図る。	
6.アイヌ政策推進交付金事業				
(1)アイヌ文化マスター育成事業	6～翌2月	市内小中学生	市内の小中学生がアイヌ語や恵庭市、平取町などのアイヌ文化を計8回の講義で学ぶ。	
(2)アイヌ文化学習見学会事業	8月（予定）	一般	公募した参加者をバスで引率し、白老町の国立アイヌ民族博物館でアイヌ文化を学ぶ。	
(3)アイヌ文化講演会事業	11月30日	一般	アイヌの文化や歴史についての講演会。	
(4)ムックリ製作体験事業	7月26日	一般	ムックリ製作体験を通じてアイヌ文化を知ってもらい、多文化共生社会の実現を目指す。	
資料収集				
1.自然資料収集	通年		自然情報の収集保存。	
2.郷土資料収集	通年		郷土資料の収集保存整理。	
3.郷土史に関する調査	通年		聞き取り調査・写真による記録保存。	
4.高齢者の記憶に残る歴史的事柄の記録	通年		郷土史及び、個人が実際に体験し、記憶の中に残っている恵庭の歴史を「個人の記憶の記録」として保存。	
5.収集資料のデジタル化	通年		収蔵資料のデジタル化を進め、事務の効率化を図るとともに資料公開に備える。	

事業名	期日	対象	趣旨	
史跡整備				
1.史跡整備 (①ごみ拾い、②花植え、③草刈り)	4~10月		①②春に地元町内会等と合同で実施 ③年2回(6・8月)業者委託で実施	
2.北海道縄文のまち連絡会	7月	加盟30市町村	7月に函館市で総会	
周知・刊行物				
1.市広報誌、新聞等の活用	随時			
2.資料館ホームページの充実と活用	随時			
3.郷土資料館だよりの発行	年4回		郷土資料館の事業案内を活動紹介。	
4.小学校へのチラシ配布	年1回		郷土資料館の事業案内。	
5.転入者に対する利用案内	通年	一般市民 (転入者)	転入者に対して恵庭市を理解するための学習施設の存在をPRする。	
啓発活動				
1.館内説明案内サービス	随時	一般	館内説明の充実。	
2.学校教育等との連携	通年	一般	学校教育・社会教育学習団体に対する利用促進の働きかけ。	

令和7年度 史跡整備・重要文化財指定・アイヌ政策関連の主な事業

1. 史跡カリンバ遺跡整備事業

(1) 史跡カリンバ遺跡整備検討委員会

①概要：令和7年度に実施する史跡整備の実施設計の検討、および8年度以降の史跡整備を検討するため、春・秋・冬の3回委員会を開催予定です

②経費：1,051千円（国庫補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）

(2) 史跡カリンバ遺跡整備実施設計委託

①概要：令和8年度の史跡現地整備に向けて、実施設計を委託

②経費：9,482千円（国庫補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）

(3) カリンバ遺跡史跡等水文環境調査

①概要：資料館学芸員がボーリング孔の地下水位や旧カリンバ川三角堰の流量を月1回計測します

2. 西島松5遺跡出土品重要文化財新指定事業

(1) 金属製品保存箱作製委託

①概要：金属製品133点を保管するアクリル製の保存箱12個の作製を委託

②経費：19,102千円（国庫補助金1/2、道補助金1/4、市単独費1/4）

(2) 展示ケース作製委託

①概要：重要文化財の実物を通年展示できるように、湿度を一定に保てる特別な展示ケースを作製

②経費：6,825千円（市単独費）

(3) 西島松5遺跡重要文化財新指定記念シンポジウムとミニ展示

①日程：10月13日（月・祝）

②会場：恵庭市民会館 3階 中ホール

③概要：大学の講師や文化庁の調査官を招いてシンポジウムを開催。また写真パネルや実物資料（数点）のミニ展示も同時開催

④経費：780千円（国庫補助金1/2、市単独費1/2）

(4) 西島松5遺跡重要文化財写真集・パンフレット作成と写真撮影委託

①概要：写真集1,000部、パンフレット3,000部の作成と写真撮影委託（51カット）

②経費：（ア）写真集作成委託 1,783千円（市単独費）

（イ）パンフレット作成委託 476千円（国庫補助金1/2、市単独費1/2）

（ウ）写真撮影委託 938千円（国庫補助金1/2、市単独費1/2）

3. アイヌ政策推進交付金事業

(1) アイヌ文化マスター育成事業

①概要：市内の小中学生 6 名が恵庭市や平取町などでアイヌ文化を学び、アイヌ文化への正しい理解を深め、本市の多文化共生社会の実現へとつなげます

②経費：1,179 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(2) アイヌ文化学習見学会事業

①概要：公募した参加者をバスで国立アイヌ民族博物館に引率する。単なる見学会にならないようするため解説を依頼し、アイヌ文化やアイヌと和人とのかかわりを深く学べる機会を提供する

②経費：96 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(3) アイヌ文化講演会事業

①概要：アイヌ文化への理解を広げるため、第 3 回アイヌ文化講演会を開催する。講師は第 1・2 回に引き継ぎ、文化庁内田調査官にお願いしている

②経費：22 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

(4) ムックリ製作体験事業

①概要：公募した参加者にムックリ製作体験をしてもらい、アイヌ文化に触れていただくことで多文化共生社会の実現を目指す

②経費：11 千円（国庫補助金 8/10、青少年・文化振興基金 2/10）

4. カムイノミ・イチャルパの実施について

(1) カムイノミ・イチャルパの実施について

10 月 5 日（日）（予定）に恵庭アイヌ協会は千歳アイヌ協会などの協力を得て、遺骨の地域返還に係るカムイノミ・イチャルパ（神々への祈り・先祖供養）を恵庭市埋蔵文化財整理室で行う。恵庭市は会場設営や当日の運営等で協力する

令和7年度 埋蔵文化財関連の主な事業

○市内遺跡発掘調査等事業

1. 発掘調査

概要：和光町4丁目のユカンボシE12遺跡に該当する区域において、個人住宅建築工事の事前に発掘調査が1件あり、約142m²の発掘調査を実施する予定です。

経費：9,872千円（国庫補助金1/2・道補助金1/4・市一般財源1/4）

2. 試掘調査（新市街地以外）

概要：工事計画地が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に該当する場合などに、工事計画地における埋蔵文化財の有無・規模・内容などを確認し、工事が埋蔵文化財に与える影響を勘案し、発掘調査等の必要性の有無を判断することを目的として事前協議を行っています。新市街地以外の小規模な試掘調査を21件見込んでおります。

経費：6,000千円（国庫補助金1/2・道補助金1/4・市一般財源1/4）

3. 試掘調査（新市街地）

概要：工事計画地が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に該当する場合などに、工事計画地における埋蔵文化財の有無・規模・内容などを確認し、工事が埋蔵文化財に与える影響を勘案し、発掘調査等の必要性の有無を判断することを目的として事前協議を行っています。新市街地の検討に伴う試掘調査が1件あり、約80,000m²の試掘調査を実施する予定です。

経費：59,980千円（国庫補助金1/2・道補助金1/4・市一般財源1/4）

4. 金属製品保存処理

概要：市内の遺跡から出土した金属製品（アイヌ文化期の小刀等）3点の保存処理を予定しています。

経費：3,000千円（国庫補助金1/2・道補助金1/4・市一般財源1/4）